



イスターを体験してみた

さて、前回まで「ラマダン」というムスリムの特別な期間や休日を紹介しましたが、ヨルダンで暮らすキリスト教の人たちにとっても同様に重要な休日があったので紹介します。



「イスター(復活祭)」とは？

イスターとは「復活祭」のことです。十字架にかけられて亡くなったイエス・キリストが、3日後に復活したことを祝うお祭りです。キリスト教においてはクリスマスと同じくらい重要です。

イスターという名前は古代ゲルマン神話の春の女神の名前

「Eoster (エオストレ)」に由来するとされています。これは、イエ

ス・キリストの復活と、春を象徴する女神のイメージが共通するからとされ、イスターには春の訪れを祝う意味も含まれているとも言われています。ちなみにモアイ像で有名な「イスター島」は、1722年のイスターの日に（4月5日）発見されたことにちなんで名づけられたそうです。特定の日が決まっているものではなく、「春分の日の後の、最初の満月の次の日曜日」と決められています。キリスト教の宗派によって暦の考え方が異なるため、日にちが異なります。今年は4月16日、キリスト教の人たちは、休日でした。宗教によって休日が異なっていますが、お互いに敬い合うことがいかに素晴らしいことかヨルダンで改めて感じさせられます。

どんなことをするの？



イスターといえば「卵」！なぜかという、新しい命が誕生する卵は生命や復活の象徴とされ、一度処刑された後に復活したイエス・キリストを連想させるためとされています。イスターでは色彩豊かに色付けさ

れた「イスターエッグ」が欠かせません。部屋に飾ったり、「エッグハント」や「エッグレース」という遊びに使ったりします。私も初めてエッグペイントに挑戦しました！食紅を水やお湯に溶き、発色を良くするために酢や酸性の物を加えた染料でゆで卵に色を付けます。（今回は専用の粉をお湯に溶かして色付けをしました。）クレヨンやマスキングテープを使うと白いままの色を保つことができ、模様をつけることもできるよう。同僚とワイワイ楽しみました。



この実、何の実？



この花を覚えていま
すか？No.20で紹介し
た「アーモンドの花」
が実になっていまし
た。



同僚の家に木があり、
「ほら、ゆりも獲っ
て！」と言われたのでお手伝
いしました。私が驚いたのは、そ
の実をそのまま食べることです。今
まで乾燥させたアーモンドしか食べ
てこなかったのに衝撃でした！食
べてみるときゅうりに似た味がしま
した。中には白い部分があり、「こ
こが苦いのよね～」と教



えてくれました。本当に苦い…。でも、この種
子がさらに時間が経つとよく知るアーモンドに
なるのかあ…と感動しました。

👍 オススメ!!



アーモンドになる部分



ちなみに、ちょっと塩をつけて食べるのがこちらの人の
ちのおすすめの食べ方でした。ポリポリお菓子感覚で食べ
られます。



Let's talk in Arabic ♪

今回は、第3回目のアラビア語を読みましょう！日本でも人気のアニメの1つ、ヨルダンでも大人気！
大人も子どもも知っている人が多いのです。私も大好きなので、話題に挙がると盛り上がります。日本のタ
イトルに近いのでわかるかも？！どうやって読むのか想像してみてください♪

المحقق كونان

المحقق كونان

ヒント

では、また次回！ مع السلامة